

田原小だより

第648号
平成31年2月28日
台東区立田原小学校
校長 白井 正之

引き継ぎ

校長 白井 正之

2月15日（金）に6年生を送る会がありました。それぞれの学年らしさを発揮し、出し物が学年を追ってレベルアップしていく様子がよくわかりました。昨年と比較してみても全体的に落ち着いた雰囲気、まとまったものになっていました。引き継ぎ式で、校庭の掲揚台へ校旗を掲揚することと児童朝会で代表挨拶をすることの役割が、6年生から5年生に引き継がれました。早速、2月18日（月）から5年生がその役割をしっかりと果たしている姿が見られました。

6年生を送る会は学年ごとのまとまりで行いますが、「なかよし班活動」の仕上げの会でもあります。「なかよし班活動」は、6年生をリーダーとして6年生から1年生までで構成され、12班に分かれて活動します。年間6回、班ごとに給食を食べて、その後班遊びをします。大きな活動としては、まず5月の全校遠足があります。班ごとに学校を出発したときから電車の中や公園での班行動、そして、学校に帰り着くまで、6年生がリーダーとして班行動をします。次に下町七夕まつりでかっぱ橋本通りを飾る「七夕ささ飾り」を班ごとに飾り付けます。秋には班ごとに町に出てクリーン作戦を行います。本年度は展覧会の年だったので屋上に班ごとに段ボールハウスを作りました。そして、最後に5年生がリーダーとなって、6年生とのお別れ給食の準備を行います。ここで5年生にリーダーの役割が引き継がれているのです。様々な行事の中で6年生が働き活躍しますが、その姿を見て次の年度に引き継がれていきます。その中でもなかよし班でともに活動しながら見るリーダーの姿は、印象深く引き継がれていくことと思います。引き継ぎ式での5年生の姿は、とっってもしっかりした姿に見えました。

学習指導の基準である学習指導要領についても、2020年度から新学習指導要領が完全実施ということで、本年度と来年度が移行期間となっています。つまり引き継ぎの年度となっています。新学習指導要領になって学ばせ方等で変わっていくことがいろいろありますが、高学年の外国語活動が週1時間から週2時間に増え、総合的な学習の時間に実施していた中学年の英語活動が外国語活動として1時間特設されます。そのことで時間割を今までのものに1時間加えなければなりません。現状では会議がある水曜日を5時間として後は6時間で時間割を作っています。本年度は1コマ増やさず教育課程を編成するように考えたことから、大きな変化を加えず小さな工夫で時数確保をしてきました。来年度については1コマ増やすことも視野に入れ、教育課程を編成するようにという教育委員会の説明がありました。そこで単純に1コマ増やすと、1日7時間ある日を作るか、水曜日の休憩時間を短縮して6時間にすることが考えられます。しかし、現状の6時間目でさえ集中力を欠く傾向にあります。7時間目を作ったり6時間目を増やしたりしても、学習効果はあまり望めません。そこで、今、朝学習としている8時25分から8時40分までの15分間を国語や算数、英語の短時間の学習指導の時間として扱うことで1コマ分の学習時間を確保することで計画しています。朝は頭がさえていて、たとえ15分であっても学習効果は期待できます。子供たちにとっても無理なく新学習指導要領に引き継いでいくことができると考えています。

食育での取り組み

栄養士 小山 幸子

今年度も、本校では食材に触れる体験や栄養バランスについて考えるカフェテリア給食、ふれあい会食などの交流給食、箸使い献立、3年生のマイ箸作り、6年生の魚の出前授業などの食育を行ってきました。

また、万次郎かぼちゃ、江戸菜、大蔵大根、小松菜など定期的に地場産物を活用し、菊の花や姫りんごなど旬の食材を使った行事食や毎月19日の食育の日に世界の料理を実施しました。

子供たちが健康でいきいきと健やかに成長し、安心して学ぶためには、食事・運動・睡眠のバランスをとることが大切です。今年度は、保健の生活リズムチャレンジカードの実施時期に合わせ、残さず食べようキャンペーンも実施しました。成長期の子供は大人よりも多くの栄養を必要としています。特に体の小さな子供の場合、1食の食事内容が体全体に及ぼす影響は大人よりもはるかに大きく、足りない栄養を他の食事で帳尻を合わせることは困難です。朝ご飯をきちんと食べるために早起きをし、睡眠を充分とるために早く寝る。共働きや生活環境の多様化で子供の生活に合わせるのは難しい時代ですが、学校と家庭とで連携して食育を進めていければと思います。そして、給食を通して健康な体づくりができるよう「食」の大切さを伝えていきたいと思っていますので、今後ご理解、ご協力くださいますようお願いいたします。

生活指導部より

生活指導主任 高橋 浩之

2月の生活指導目標は「体をきたえよう」でした。校庭遊びや体育室遊びができる休み時間になると、どの学年の子供たちも元気に校庭や体育室で元気いっぱい遊ぶ様子が見られました。2月から田原小学校では、多くの子供たちに体を動かしてほしいという教員の願いから、朝遊びの時間に長なわで遊べるようにしました。朝遊びも積極的に参加して、遊びを通して楽しみながら体を鍛えてほしいと思います。

3月の生活指導月目標は「友達となかよくしよう」です。友達となかよく過ごすために大事なことは、「自分がしてほしいことを人にしてあげること」「自分がされたいやだなと思うことは、絶対に人にしないこと」だと思います。そのためには、相手の気持ちを考えなければなりません。相手の人が今、嬉しいのか悲しいのか、楽しいのか嫌な気持ちでいるのかななどを、言葉で言われなくても気付くことも大切です。

お互いに相手を思いやり、尊重し合いながら学校生活を送ることができるよう、指導を続けていきます。

東京マラソン応援演奏・演技に向けて

フラッグ隊担当 稲山 綾香

3月3日(日)、多くのランナーが参加する「東京マラソン2019」が開催されます。田原バンド・フラッグ隊は、6年生が引退し、4・5年生による初めての校外発表となります。6年生の熱意と思いを受け継ぎ、心の込もった演奏・演技をすることを目標に日々練習に励んでいます。本番はたったの10分間ですが、寒い中走る多くのランナーの方々や沿道で応援している方々に、思いが伝わる演奏・演技ができれば嬉しいです。

また、この東京マラソンは今年度最後の発表の場となります。ここまで活動することができたのは田原バンド・フラッグ隊を支えてくださった保護者の皆様や地域の方々のおかげです。4月からは3年生の体験入部を終えた新4年生を迎えて、新たな田原バンド・フラッグ隊の活動が始まります。今後ともご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

6年生を送る会

特別活動部 木本 修

2月15日（金）に、6年生を送る会が体育室で行われました。全校遠足やなかよし班活動でお世話になった6年生へ各学年が心を込めて出し物を贈りました。中でも6年生の歌と合奏は圧巻の迫力で、「最高学年はさすがだな。」と思わせるような素晴らしい出し物でした。全校児童が一体となって6年生に感謝の気持ちを伝える雰囲気体育室中に広がり素敵な会となりました。

送る会の後はお別れ給食、なかよし班遊びを行いました。今年度最後のなかよし班活動は5年生が中心となって進行し、6年生との交流を深めました。一生懸命に下学年に声をかけ班をまとめようとする5年生の姿から、来年度のリーダーとしての自覚が芽生えていると感じました。

6年生と過ごせる時間も残りわずかですが、楽しい思い出を残してほしいと思います。

《各学年の出し物の様子》

1年生：呼びかけ

歌「ありがとうの花」



2年生：タワライダーの劇

歌「ドレミの歌の替え歌」



3年生：合奏「ブラックホール」

群読「夕日がせなかをおしてくる」



4年生：6年生クイズ

歌「ビリーブ」



5年生：呼びかけ

歌・ダンス「やってみよう」



6年生：歌「WISH～夢を信じて～」

合奏「Hey Jude」



不審者対応訓練

避難訓練担当 木下 菜見

本校では毎年1回、校内に不審者が侵入した場合を想定した避難訓練を行っています。

今年は2月19日（火）に浅草警察署の方々のご協力いただき、実施しました。正面玄関から来校した人物が凶器を持っており、大きな声を出しながら周囲を脅かすというリアルな場面を想定した訓練でした。

暗号放送が入ると、児童は「学校に緊急事態が発生した。」と認識します。そして事前に学習したように、安全が確保できる場所で静かに身を潜めます。教職員は、不審者対応を担当する班と児童管理を担当する2つの班に別れて児童の安全を守ります。

実際に不審者が学校を襲った事件では、犯人は「忘れ物を届けに来た」と紙袋を持って学校に入ってきたそうです。学校ではよくある状況です。「危険は平静を装って近づいてくる」ということを、ご家庭でも話題にしていきたいと思います。